

城南の風

編集・発行 城南地区まちづくり協議会総務部

篠山市小枕 城南コミュニティーセンター

TEL : 079-506-0955 FAX : 079-506-0956

ホームページ <http://www.jounan-sasayama.jp>

この会誌に記載の情報は城南まちづくり協議会ホームページにも掲載されています。

年頭のご挨拶

城南地区まちづくり協議会 会長 松尾与史彦



あけましておめでとうございます。

日頃、自治会長様始め各種団体、地域の皆様には、まち協の諸活動にご協力頂いていますこと感謝申し上げます。29年度を振り返り、お蔭で多くの活動が出来ましたこと嬉しく思っています。11月に開催した文化祭・収穫祭は従来の舞台での発表者、農産品の入賞者、役員だけの参加ではなく多くの方々の参加で、盛大に開催出来ました。この「きっかけ」は、ある役員さんから「〇〇地区の文化祭は、多くの参加者で活発にやっているよ」と聞かせてもらい、文化部・産業振興農業部の部長を中心に盛大に開催している地区に行き、取組み内容について検討を重ねたことと当日に向け部員さん、農会長さん、小学校の先生方のご協力のお蔭だと思えます。

--- 活発にやっている地区を参考に取組んだこと ---

1. 自前で大判のカラー刷りチラシを作り全戸配布
2. 児童クラブの子ども達による大きな案内看板を校門に設置
3. この催しに初めて来賓として市長にご出席頂いた
4. JAさんによる米粉パン販売（1時間で完売）
5. アグリステーションによるおはぎ、おこわの販売
6. 農産品品評会に例年になく多くの出品
（秋野菜、芋類のみの時期にも拘わらず今まで以上に自治会長さん農会長さんが個別に出品要請をして頂いた）
7. 小学生の三味線演奏に加え今回は作品展示
8. お楽しみ抽選会

諸行事について参加者が増えない理由は沢山あります。しかし、そこで諦めることなく、やることは目新しいことでなくても開催側の熱意で地道にやれば出来ることを教えてもらった今回の文化祭・収穫祭であったと思えます。新しい年度に向け、ご意見を頂きながら、更に充実した活動が出来るよう取組みますので引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「城南地区まちづくり懇談会」開催のお知らせ

下記の日程でまちづくり懇談会を実施しますので多くの皆様の出席をお願いします。案内状は別途自治会長様を通じてご案内します。

日時： 平成30年1月20日（土） 午後1時30分～午後3時30分

場所： コミセン城南会館 2F 大会議室

講師： 篠山市政策部創造都市課 酒井誠 様

演題： 高齢者の移動手段について

平成29年11月25日（土）

午後1時～（参加者総数：23名）

まち協体育部主催の「お宝ウォーキング」が「龍蔵寺」で開催されました。この催しは、城南地区内の名所・旧跡を訪れ、歴史等を学ぶという趣旨であり今年で4回目となります。

当日は好天に恵まれ子供達や保護者等23名が参加し、龍蔵寺・広場内において、上坂・住職さんから、龍蔵寺は「聖徳太子」の時代に建立され、幾多の困難を乗り越えられ現在に至っていることも勉強しました。

住職さんは、歴史の話しや、建物の話しの後、愛宕山・山道へも案内下さり、昔の「お坊さんの業・山とのかかわり」の話なども聞かせてもらいました。

その後、お寺へ通ずる道路等、お寺の石垣周辺に隠されている「お宝のカード」を探し出すゲームで（参加者＝小学生）、商品のお菓子をゲットし、有意義な内に行事を終わりました。

なお、ウォーキング計画は、真南条上公民館あたりから徒歩で龍蔵寺を訪ねる予定でしたが、道中、「田口池」あたりで過日の台風による雨で道路肩が被災しており、参加者の安全確保を図るため中止しました。

又、当部の本行事に際して、日程調整や出迎えて下さった「まち協・産業振興農業部長・渡瀬氏」や、本事業に同行下さった「広報・石田氏」らに感謝申し上げます。

～【参考までに過去の訪問先を記述します】～

平成26年度	小枕地区	（春日神社）
平成27年度	宇土地区	（宇土観音・弘誓寺）
平成28年度	真南条地区	（二村神社）
平成29年度	真南条地区	（龍蔵寺）



平成29年11月5日（日）

【文化祭】（文化部主催）

「城南小学校三味線クラブ」や「恵会」による三味線、「ゆうゆうゆう」によるコーラス、「哲山流興業風吟詠会」による詩吟、「民謡どんくり会」による民謡等、そして今年新たに「Cotonova Studio」や「ホーポエ・レファプルメリア」によるダンスや「陽翔新舞踊楽扇会」による新舞踊等日頃の成果発表されました。そして「たんなん樽太鼓」による演奏や民謡の先生方の特別出演で花を添えていただき、会場は昨年以上に盛り上がりました。

【秋の収穫祭】（産業振興農業部主催）

恒例の農産物品評会が行われ、各集落から農業者が丹精込めて育てられた農産物が出品されました。黒枝豆の部は11点、山の芋の部は11点、秋野菜の部は大根や白菜、キャベツなど25点、計47点が出品され、3部門ごとに審査し、優秀者に表彰状と記念品が贈られ

ました。

今年は長雨に続く台風21号の影響でご苦労されたにも関わらず、特産黒枝豆や山の芋そして各種野菜の立派な品目が出品され審査終了後秋野菜が即売されました。

各部門の受賞者は以下の通り（敬称略）

	まち協会賞	自治会長会賞	JA丹波ささやま丹南支店賞
黒枝豆の部	真南条中 岸本康宏	真南条中 堀井常義	野中 塚本逸男
山の芋の部	宇土 佐圓茂雄	小枕 畑中源文	真南条中 酒井由雄
秋野菜の部	小枕 大森哲男	栗栖野 酒井弘司	真南条上 小林 喜



平成29年10月30日（月）

平成28年10月に発足から一年、毎週10名前後の参加者で活動しています。現在の会員数は20名、自分の体調と相談し自分のペースで参加しております。

スタッフと参加者が和気あいあいと運営しており、10月23日（月）の体操前での一コマ、血圧は大丈夫ですか、よく眠れましたかの問いかけに、眠れませんでした～の声で大爆笑（・・・？）台風21号の風雨で寝不足気味でしたが、皆さん元気に体操をしたと聞いてほっこりしました。

また、30日（月）は台風22号の通過後でしたが体操の後で一周年を記念して、お食事会をいたしました。急がず・慌てず・継続は力なり、続けてもう一年頑張るぞ！！



平成29年10月8日（日）

岩崎のお宮は春日三社といい、一つのお社に「春日神社」「八幡大神」「加茂大神」の三つの神様がお祀りされています。秋の大祭には、餅撒や子供相撲があり、子供たちには楽しいお祭りでした。ところが昭和40年過ぎから少子化のため子供相撲も無くなり寂しいお祭りとなりました。昭和58年に子供に「楽しいお祭り」をと、当時の親たちが考えて、子供樽神輿を作ろうと、お父さんたちは神輿を、お母さんたちは子供用のハッピーをと每晚公民館に

集まり作り上げました。村にあった約百年前の太鼓も革を張り替え、お祭りに音頭をとってあります。小学生はもとより中学生も幼い子供も、また、親戚や他の地でお住まいの子供たちもお祭りに参加し、田舎の楽しい村祭が行われています。



「百年前の太鼓」伝説

岩崎の春日神社には、元々太鼓神輿があったそうです。神輿の屋台は二村神社（真南条）に納められた。（担手がなくなったのか、寄贈したのか理由は定かでない）太鼓だけが岩崎村に残り、村集会の寄せ太鼓として昭和30年代後半まで打ち鳴らされていた。

平成29年10月7日（土）

真南条の二村神社で10月7日（土）・8日（日）秋祭りが行われた。久しぶりに太鼓神輿が奉納され、境内に元気な掛け声と太鼓の音を響かせました。

夜宮の7日（土）一基の太鼓神輿が真南条地内を回り、夜には三ヶ村の高張りとともに勇壮に宮入し、神社境内を練り歩きました。8日（日）の本宮では本殿において神事が執り行われ、五穀豊穰への感謝と地域の安全がお祈りされました。その後太鼓神輿の練り歩きと餅まきがあり、この日ばかりは境内では久しぶりに賑わい、鎮守の森も活気で溢れていました。

今から60年数年ぐらい前まで二村神社の秋祭りは、「真南条の喧嘩祭り」として有名でした。各集落から三基の太鼓神輿が互いにぶつかり合う、それは勇壮なものでしたが、喧嘩祭りもなくなりました。また、奉納されていた引山（ダンジリの）姿を知る人も年々減ってきています。

平成15年頃まで各集落で太鼓神輿を出していましたが、少子高齢化などで各集落とも太鼓神輿を出すことが難しくなり、高張り奉納のみの祭礼でした。平成19年から21年にかけて始めて三ヶ村で一基出ましたが、その後出ていません。

しかし、歴史ある二村神社の祭礼で太鼓神輿を子供たちに体験させ、良き歴史的文化を継承することが大切との話から、村の役員さんが中心に話し合い、住民のご理解とご協力のもと8年ぶりに復活することが出来ました。今後太鼓神輿の保存は大変ですが、この素晴らしい伝統が続けられることを願っています。



城南の風チャンネルでは平成6年の祭礼、太鼓神輿の様子をご覧になれます。

https://www.youtube.com/watch?v=ytwkT0_69JE&t=4s

<https://www.youtube.com/watch?v=aU-o9yvvs8k&t=14>